



『どうぶつのおやこ』

藪内 正幸／画
福音館書店(E-ヤブウ)

猫の親子、あらいぐまの親子、きりんの親子…。子どもたちの大好きな動物の親子が写実的に描かれている、文字のない絵本です。動物たちに呼びかけたり、おはなしを作ったり、自由に読んでみてください。

* 其他のおすすめ本 *

『がたんごとんがたんごとん』

安西 水丸／さく 福音館書店(E-アンサ)

『いいおかお』

どい かや／作 主婦の友社(E-トイカ)

『たまごのあかちゃん』

かんざわ としこ／ぶん
やぎゅう げんいちろう／え
福音館書店(E-ヤギユ)

『くつついた』

三浦 太郎／作・絵 こぐま社(E-ミウラ)

『くっくくく』

長谷川 摂子／文 小川 忠博／写真
福音館書店(E-オカワ)

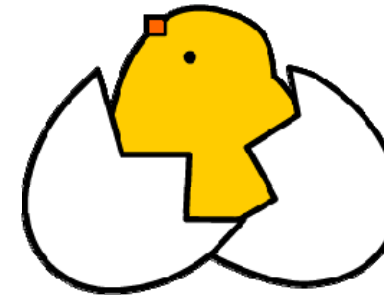
『ゆめにここにこ』

柳原 良平／作・絵 こぐま社(E-ヤナキ)

あかちゃん

えほん

【0歳～】

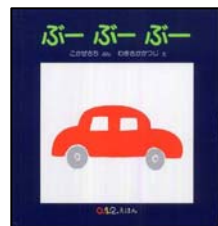


『くだもの』

平山 和子／さく
福音館書店(E-ヒラヤ)

そのままの姿と、食べやすく切られた形とで、交互に描かれたくだものがとってもおいしそう！「さあ どうぞ」の言葉に、思わず手をのばしたくなります。最後は自分でバナナの皮をむけるかな？

シリーズに『やさい』『おにぎり』『いちご』があります。



『ぶーぶーぶー』

こかぜ さち／ぶん
わきさか かつじ／え
福音館書店(E-ワキサ)

赤い自動車は「ぶーぶーぶー」。青い自動車は「ぷーぷーぷー」。大きい自動車も「ぶわーん」とやってきます。

カラフルな自動車がそれぞれの音を鳴らしながら、次々と登場します。読んでいるうちに、子どもたちも思わず「ぶーぶーぶー」。

平成22年10月
編集発行：福島市立図書館 (Tel. 531-6551)

【福島市立図書館】

- 開館時間
月～土：10時～18時
日：10時～17時
- 休館日
火曜日、祝日、月末図書整理日
- おひざにだっこのおはなし会
毎月第3木曜日 10時30分～

【福島市子どもライブラリー】

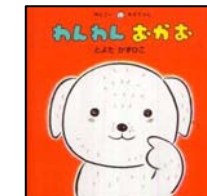
- 開館時間
毎日：9時30分～19時
- 休館日
火曜日
- おひざにだっこのおはなし会
毎月第1木曜日・第3日曜日 11時～

学習センター図書室については、各館にお問い合わせ下さい。

* はじめに *

赤ちゃんにとって「生まれて初めてふれる本」は、絵本です。赤ちゃんを膝にのせて、できるだけゆっくり、心を込めて読んであげてください。それが親子のふれあいの場となり、赤ちゃんにとっても幸せな経験となっていきます。

このリストでは、0歳位からの赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介しています。絵だけで楽しむ絵本、赤ちゃんの身近にある「もの」の絵本、わらべうたの絵本…。ぜひ、赤ちゃんにお気に入りの1冊を見つけてあげてください。



『わんわんおかお』

とよた かずひこ／著
アリス館(E-トヨタ)

いぬさんのおくち、ぶたさんのおはな、ねこさんのおめめ。「どーこ？」の問いかけに、動物たちが答えてくれます。赤ちゃんと一緒に指差しをしながら楽しく読めます。

シリーズに『ぷるんぷるんおかお』『まんまるおかお』があります。



『いないいないばあ』

松谷 みよ子／文
瀬川 康男／え
童心社(E-セガワ)

動物たちが「いないいないばあ」をしています。にゃあにゃも、くまちゃんも、こんこんぎつねもみんな、いないいない…ばあ。さあ、今度はあなたも、いないいない ばあ！

ぜひ、赤ちゃんと一緒に遊んでみてください。



『きゅっきゅっきゅっ』

林 明子／さく
福音館書店(E-ハヤシ)

なかよしのうさぎさん、ねずみさん、くまさんと一緒に、おいしいスープをいただきまーす。あらら、こぼしちゃった。「きゅっ きゅっ きゅっ」きれいにふいてあげようね。あれ、まだお口のまわりにこぼしている子がいるよ。だれかな？

シリーズに『おててがでたよ』『くつつあるけ』『おつきさまこんばんは』があります。



『もこもこもこ』

谷川 俊太郎／作
元永 定正／絵
文研出版(E-モトナ)

なんにもない地面から、もこもこ、によきによき。なんだろう？ふくれあがって、ぱくっと食べて、ぼろりと落とす。それがまたふくれあがって、ぱちんと弾けて、ふんわふんわ…。

擬音とシンプルな絵で構成されています。自由な想像で様々なストーリーが楽しめます。



『かぞく』

ヘレン・オクセンバリー／作
文化出版局(E-オクセ)

おかあさん、おとうさん、おねえちゃん、おにいちゃん、それから…。赤ちゃんの周りにいる人たちを描いた、文字のない絵本です。

シリーズに『あそび』『したく』『しごと』『ともだち』があります。



『だっこだっこ
ねえだっこ』

長 新太／さく
ポプラ社(E-チヨウ)

赤ちゃんはみんなだっこが大好き。だっこだっことおねだりも上手です。

ねこもいぬもぶたもたこも…あれ？ころころぼーるも、くつも、だっこが大好き。もちろん最後は、わたしもママにだっこ。



『ととけっこう
よがあげた』

こばやし えみこ／案
ましま せつこ／絵
こぐま社(E-マシマ)

にわたりのこっこさんが「ととけっこう よがあげた…」と歌うと、みんな元気に起きだします。

伝承わらべうたの絵本です。巻末には楽譜も載っているので、子どもたちの目覚めの時に歌ってあげるのもおすすめです。



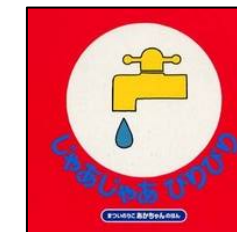
『ごぶごぶ
ごぼごぼ』

駒形 克己／さく
福音館書店(E-コマガ)

「ごぶごぶ ごぼごぼ」
「ぷぷぷ ぷわーん」

青やオレンジの丸が、音と共に大小に変化していきます。

水の中にいるような不思議な音と鮮やかな色。ページには丸い穴も開いており、視覚と触覚を使って楽しめる本です。



『じゃあじゃあ
びりびり』

まつい のりこ／作・絵
偕成社(E-マツイ)

自動車や犬、掃除機などの身近な「もの」とその音が、シンプルな絵とはっきりした色で描かれています。

声に出してみたり、その「もの」のまねをしてみたりといろいろな楽しみ方があります。

「まついのりこあかちゃんのほん」シリーズの1冊。



『ひまわり』

和歌山 静子／作
福音館書店(E-ワカヤ)

地面に落ちた小さな種から、ひまわりの芽が出ました。おひさまの光をあびて、雨水を吸って、ひまわりはどんどこどんどこ伸びていきます。おひさまに負けないくらい大きな花が咲いたら、最後には…。

ひまわりの生長が、ダイナミックに描かれています。



『くつしたくん』

中川 ひろたか／ぶん
100%ORANGE／え
ブロンズ新社(E-ヒヤク)

あかいくつしたときいろくつしたがブランコやシーソーで遊んでいると、うさぎさんに会いました。あれあれ？よく見るとうさぎさんの耳にもおそろいのくつしたが！

言葉のリズムが心地よく、くつしたくんと一緒に遊んでいる気分になれる1冊です。

シリーズに『スプーンさん』『コップちゃん』などがあります。

* その他おすすめの本 *

『おふろでちゃぶちゃぶ』

松谷 みよ子／文 いわさき ちひろ／え
童心社(E-イワサ)

『ぎったん ばっこん』

なかえ よしを／文 上野 紀子／絵
文化出版局(E-ウエノ)

『はけたよ はけたよ』

かんざわ としこ／ぶん にしまき かやこ／え
偕成社(E-ニシマ)

『でんしゃ』

バイロン・バートン／さく こじま まもる／やく
金の星社(E-ハトン)

『おどります』

高島 純／作 絵本館(E-タカハ)

『あがりめ さがりめ』

ましま せつこ／絵 こぐま社(E-マシマ)

平成22年10月
編集発行：福島市立図書館 (Tel. 531-6551)

【福島市立図書館】

- 開館時間
月～土：10時～18時
日：10時～17時
- 休館日
火曜日、祝日、月末図書整理日
- おひぎにだっこのおはなし会
毎月第3木曜日 10時30分～

【福島市子どもライブラリー】

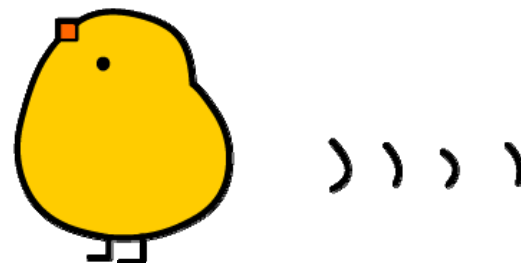
- 開館時間
毎日：9時30分～19時
- 休館日
火曜日
- おひぎにだっこのおはなし会
毎月第1木曜日・第3日曜日 11時～

学習センター図書室については、各館にお問い合わせ下さい。

あかちゃん

えほん

【2歳～】



* はじめに *

赤ちゃんにとって「生まれて初めてふれる本」は、絵本です。赤ちゃんを膝にのせて、できるだけゆっくり、心を込めて読んであげてください。それが親子のふれあいの場となり、赤ちゃんにとっても幸せな経験となっていきます。

このリストでは、2歳頃からの赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介しています。少しずつできることが増えてきて、世界が広がっていく時期です。赤ちゃんの世界をより豊かにしてくれる絵本に、たくさんふれさせてあげてください。

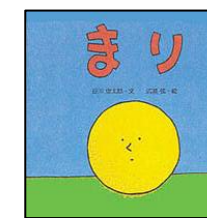


『いろいろおせわになりました』

やぎゆう げんいちろう／さく
福音館書店(E-ヤギユ)

男の子が「おちゃをのみにきてください」と誘うと、いろいろなお客さんがやって来て、帰りに「いろいろおせわになりました」と言って、物を交換してお別れします。

大人の真似をして遊ぶわらべうたを元にした絵本です。わらべうたの楽譜がついているので、一緒に歌いながら読んでも楽しめます。



『まり』

谷川 俊太郎／文
広瀬 弦／絵
クレヨンハウス(E-ヒトセ)

まりがひとつ、ありました。ころころと転がって、ぼんぼんはねて。ぱしっと打たれて、ぴしゃっと当たったら、四角いまりになっちゃった！？かっくんかっくん転がった先には、大きな水たまりが…。

まあるいまりに戻れるのかな？



『うさこちゃんとうみ』

ディック・ブルーナ／ぶん・え
いしい ももこ／やく
福音館書店(E-プルナ)



『こちょこちょこちょ』

うちだ りんたろう／作
ながの ひでこ／作
童心社(E-ナガノ)



『しろくまちゃんの ほっとけーき』

わかやま けん／絵
森 比左志／文
こぐま社(E-ワカヤ)



『みんなうんち』

五味 太郎／さく
福音館書店(E-ゴミタ)

うさこちゃんはお父さんと海へ行きました。砂山を作ったり、貝拾いをしたり、海は楽しいことがいっぱいだね！

「うさこちゃんの絵本」シリーズの1冊。赤・青・黄などのシンプルな色使いと、黒く縁取りされた絵が印象的。何度読んでも飽きない絵本です。

さっちゃんはお会った動物もおばけも、なんでも「こちょこちょこちょ」とくすぐります。やまあらしはとげがあるので、こちょこちょできないけど…。

こちょこちょされている動物たちや、さっちゃんの笑顔を見ていると、ちょっとくすぐったい気持ちになるかもしれません。

しろくまちゃんはお母さんとホットケーキを作ります。卵に牛乳、小麦粉、お砂糖、ふくらし粉、みーんな混ぜて、じっくり焼きます。ほかほかのホットケーキができあがったら、さあ、めしあがれ！

「こぐまちゃんえほん」シリーズの1冊。作ることや食べることの楽しさが伝わってきます。

おおきいぞうは、おおきい うんち。ちいさいねずみは、ちいさい うんち。うんちは、動物によって形・色・匂いが全部違う。でもみんな、ものを食べるからうんちをします。元気にうんちをすることは、生きている証拠だね！

自分の体に興味を持ち始めた子どもに読んであげてください。



『こりゃまてまて』

中脇 初枝／ぶん
酒井 駒子／え
福音館書店(E-サカイ)



『ぴょーん』

まつおか たつひで／作・絵
ポプラ社(E-マツオ)



『おさじさん』

松谷 みよ子／文
東光寺 啓／え
童心社(E-トウコ)



『ねんね』

さえぐさ ひろこ／文
アリス館(E-ネンネ)

よちよち歩きのおかちゃんが、チョウやトカゲなどを「こりゃまてまて」と追いかけてますが、逃げられてしまいます。最後に、赤ちゃんを「こりゃまてまて」と追いかけてくるのは…。

身近な自然との小さな出会い、「まてまて」と追いかける楽しみが描かれています。

絵本を縦に開くと、「ぴょーん」！かえるやバッタ、ねこ、いぬ、うさぎ…。身近な生き物たちが次々にぴょーんと勢いよく跳ねていきます。最後はわたし・ぼくも一緒にぴょーん。パパもママも思わず跳びたくなるかも！？

おさじさんは、おいしいものをお口に運ぶきしゃぽっぽ。おかゆを食べようとしているうさぎさんに会ったおさじさんは、さっそくお手伝いしようとしてますが…。

「松谷みよ子あかちゃんの本」シリーズの1冊です。おいしそうに食べるうさぎさんに、読んでいる子もにっこりするはず。

動物たちが寝ている姿の写真絵本です。それぞれの寝場所で気持ちよさそうにすやすやと寝ている動物たちの姿に、こちらも穏やかな気持ちになれるはず。

寝る前に読んであげるのがおすすめです。



『わたしのワンピース』

にしまき かやこ／えとぶん
こぐま社 (E-ニシマ)

うさぎが、空からふわりと降ってきた白い布で作ったワンピース。さっそくそれを着て「ラランロロン」と鼻歌を歌いながら歩いていくと、白いワンピースはお花畑ではお花模様になり、雨が降ってくると雨の模様になりました。

ワンピースの模様が次々に変わっていく様子が見どころです。



『わにわにのおふろ』

小風 さち／ぶん
山口 マオ／え
福音館書店 (E-ヤマグ)

わにわにはおふろが大好き！湯ぶねにあひるのおもちゃを浮かべたり、バケツをかぶってシャワーのマイクで歌を歌ったり。泡ぶくぶくで体を洗った後は、おふろにしっかりつかってタオルで拭きます。

この他にも、わにわにが料理をしたり、お祭りに行ったりする絵本が3冊出ています。

* その他おすすめの本 *

『とんとんとめてくださいな』

こいで たん／ぶん こいで やすこ／え
福音館書店 (E-コイデ)

『きよだいなきよだいな』

長谷川 摂子／作 降矢 なな／絵 福音館書店 (E-フリヤ)

『ももたろう』

長谷川 摂子／文 はた こうしろう／絵 岩波書店 (E-ハタコ)

『パンやのくまさん』

フィービー・ウォージントン／さく・え

セルビ・ウォージントン／さく・え

まさき るりこ／やく 福音館書店 (E-ウオジ)

『もりのなか』

マリー・ホール・エッツ／ぶん・え

まさき るりこ／やく 福音館書店 (E-エッツ)

『てぶくろーウクライナ民話』

エフゲーニ・ラチョフ／え うちだ りさこ／やく

福音館書店 (E-ラチョ)

平成22年10月
編集発行：福島市立図書館 (Tel 531-6551)

【福島市立図書館】

○開館時間

月～土：10時～18時

日：10時～17時

○休館日

火曜日、祝日、月末図書整理日

○おひざにだっこのおはなし会

毎月第3木曜日 10時30分～

【福島市子どもライブラリー】

○開館時間

毎日：9時30分～19時

○休館日

火曜日

○おひざにだっこのおはなし会

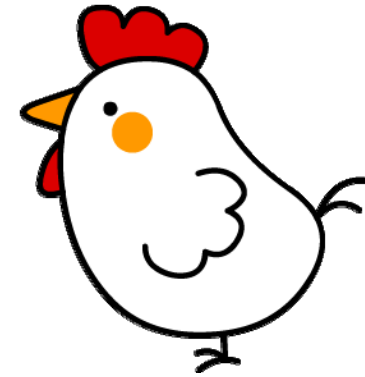
毎月第1木曜日・第3日曜日 11時～

学習センター図書室については、
各館にお問い合わせ下さい。

あかちゃん

えほん

【おはなし】



* はじめに *

赤ちゃんにとって「生まれて初めてふれる本」は、絵本です。赤ちゃんを膝にのせて、できるだけゆっくり、心を込めて読んであげてください。それが親子のふれあいの場となり、赤ちゃんにとっても幸せな経験となっていきます。

このリストでは、物語を楽しめるようになった赤ちゃんにおすすめの「おはなし」の絵本を紹介しています。赤ちゃんと一緒に「おはなし」の世界を存分に楽しんでください。



『ぼくのくれよん』

長 新太／おはなし・え
講談社 (E-チヨウ)

ごろんと転がった大きなくれよん。これは、ぞうのくれよんです。ぞうが描いた大きい絵を、本物だと思った動物たちは…。ぞうは、もっとたくさん絵を描きたいようです。次はどんな絵になるのでしょうか？



『ぞうくんのさんぽ』

なかの ひろたか／さく・え
なかの まさたか／レタリング
福音館書店 (E-ナカ)

今日はいいい天気。ぞうくんは散歩にでかけます。途中で出会ったかばくん、わにくん、かめくんと次々に背中に乗せてみんなで一緒にお散歩です。ところがぞうくん、足取りがちよっと危なげです…。

ゆっくりほのぼのとした会話と、その後の急展開に注目です！



『ふくろうのそめものや』

山口 マオ／絵
鈴木出版(E-ヤマグ)

むかし、森の鳥たちはふくろうのそめものやで体を好きな色に染めてもらっていました。その頃、真っ白な鳥だったからすも、他の鳥たちに負けちゃならんと、ふくろうのそめものやに行きます。

さて、誰よりもきれいになりたいからすは、何色に染めてもらうので



『おおきなかぶ』

内田 莉莎子／再話
佐藤 忠良／絵
福音館書店(E-サトウ)

おおきなかぶができました。あまりにおおきいので、おじいさん1人では抜けません。そこで、おばあさん・まご娘・いぬ・ねこ・ねずみが手伝いにやってきます。

かぶをひっぱる時の「うんとこしょどっこいしょ」というかけ声を、子どもと一緒に口ずさみながら読むのも楽しいです。



『はらぺこあおむし』

エリック・カール／さくもり ひさし／やく
偕成社(E-カルエ)

日曜日に生まれたあおむしくんは、おなかがぺっこぺこ。月曜日にはりんごをひとつ、火曜日にはなしをふたつ、水曜日には…。次々と食べ続けますがまだまだぺっこぺこ。一週間経つとようやくおなかも満たされて、大きなふとっちょあおむしになりました！

数や曜日の認識が織り込まれた、穴あきしかけ絵本です。

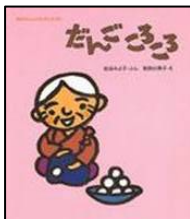


『ロージーのおさんぽ』

パット・ハッチンス／さくわたなべ しげお／やく
偕成社(E-ハッチ)

めんどりのロージーが、おさんぽにでかけました。池の周りや塀のすきま、蜂の巣箱の下を、すたすた、すいすい歩いていきます。

あれあれ？そんなロージーの後ろを、誰かがついてくるみたい。一体どうなるのかな？



『だんごころころ』

松谷 みよ子／ぶん
和歌山 静子／え
童心社(E-ワカヤ)

むかしむかし、ばあさまがだんごを作っていたら、だんごがひとつ、ころころと土間のすみっこの穴に落ちてしまいました。

だんご だんご どこへいく？
だんごを追いかけて、ばあさまも穴に飛び込みました。落ちた先にいたのは…。



『三びきのやぎのからがらどん』

マーシャ・ブラウン／え
せた ていじ／やく
福音館書店(E-ブラウ)

草を食べに山へ出かけた、3びきのやぎのからがらどん。しかし、山へ行くためには、大きなかいぶつ Troll が住む橋を渡らなければなりません。小さいがらがらどんから1びきずつ渡ることになりましたが…。

3びきは、無事に山にたどりつけるのでしょうか。



『はなをくんくん』

ルース・クラウス／ぶん
マーク・シーモント／え
きじま はじめ／やく
福音館書店(E-サイモ)

雪が降り積もる冬の間、のねずみも、くまも、かたつむりもみんな眠っています。ある時、目を覚ましたみんなは、はなをくんくん。何かのにおいに気がついて、駆けだしていきます。そして、たどり着いたところには…？



『ちびゴリラのちびちび』

ルース・ボーンスタイン／さく
いわた みみ／やく
ほるぷ出版(E-ボンス)

小さいちびゴリラのちびちびのことが、お父さんもお母さんも、森の動物たちもみんな大好き。それは、ちびちびが大きくなっても変わりません。

ちびちびのことを周りの大人たちが可愛がり見守っている、心温まるお話です。読んでいる子どもも安心感を得られる本です。